

公開ワークショップ

マヤ文字と 文字学

Workshop “STUDIES ON THE MAYAN GLYPHS”

AA 研共同利用・共同研究課題「**アジア文字研究基盤の構築 1**」では、アジア地域の漢字系文字、インド系文字、各種古代文字などを対象に、文字に関する研究、そしてそのための**文字学**研究用語の検討を行ってきました。

このたび、国立民族学博物館名誉教授八杉佳穂先生をお招きして、**マヤ文字**に関する公開ワークショップを開催します。ご存知のようにマヤ文字は字形・構造などに興味深い特徴をいくつも持った文字体系です。合わせて、本課題第1期の総括も兼ねて、西夏文字研究とその研究に関わる術語の研究も紹介します。

日時

2020年2月15日（土）
13:30-17:00

場所

東京外国語大学
アジア・アフリカ言語文化研究所
(東京都府中市朝日町 3-11-1)
304 マルチメディア会議室

AA 研 共同利用・共同研究課題「アジア文字研究基盤の構築 1 : 文字学に関する用語・概念の研究」

13:00 開場

13:30~14:00

荒川 慎太郎

「『アジア文字研究基盤の構築 1』の紹介」

14:00~15:30

八杉 佳穂

「近年のマヤ文字及び文献研究」

15:50~16:30

荒川 慎太郎

「西夏文字研究と文字研究のための術語」

16:30~

総合討論

※発表時間は多少変更される場合があります。適宜休憩が入ります。

※参加無料・事前登録不要です。東外大キャンパス内アジア・アフリカ言語文化研究所3階にお越しく下さい。

問い合わせ先：

荒川 慎太郎

(東外大 AA 研)

arakawa@aa.tufs.ac.jp